

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公表番号】特表2017-512799(P2017-512799A)

【公表日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-559300(P2016-559300)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

C 0 7 K 5/12 (2006.01)

C 0 7 K 7/54 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 37/02

C 0 7 K 5/12 Z N A

C 0 7 K 7/54

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月4日 (2018.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

がんを有する対象を処置に使用するための組成物であって、ここで該組成物が D W G P K (配列番号 2) および d W G P K (配列番号 4) からなる群から選択されるアミノ酸配列の環状ペプチドを有効成分として含む、前記組成物。

【請求項 2】

がんが、卵巣がんまたは黒色腫である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

炎症性疾患または障害を有する対象を処置に使用するための組成物であって、ここで該組成物が D W G P K (配列番号 2) および d W G P K (配列番号 4) からなる群から選択されるアミノ酸配列の環状ペプチドを有効成分として含む前記組成物。

【請求項 4】

炎症性疾患または障害が、関節リウマチ、加齢黄斑変性症（AMD）、クローン病、乾癬またはアテローム性動脈硬化症である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

炎症性疾患または障害が、クローン病である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

D W G P K（配列番号 2）および d W G P K（配列番号 4）からなる群から選択される環状ペプチド。

【請求項 7】

ペプチドが、ペグ化、グリコシル化、アセチル化、アミド化、およびリン酸化からなる群から選択される 1 以上の修飾を含む、請求項 6 に記載のペプチド。

【請求項 8】

ペプチドが、血清半減期を増強するポリマーに連結される、請求項 1、3 または 6 のいずれか一項に記載の環状ペプチド。

【請求項 9】

ポリマーが、ポリビニルピロリドン、ポリビニルアルコール、ポリアミノ酸、ジビニルエーテル無水マレイン酸、N - （2 - ヒドロキシプロピル） - メタクリルアミド、デキストラン、硫酸デキストラン、ポリプロピレングリコール、ポリオキシエチル化ポリオール、ヘパリン、ヘパリン断片、多糖類、セルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、デンプン、ポリアルキレングリコールおよびその誘導体、ポリアルキレングリコールのコポリマーおよびその誘導体、ポリビニルエチルエーテルおよび、ポリ（2 - ヒドロキシエチル） - D L - アスパルトアミドからなる群から選択される、請求項 8 に記載のペプチド。